

3. 財政収支

(資料7)(資料8)(資料9)

○ 事業収益では、主な収入源である料金収入は平成23年4月から平均5.14%引き下げの料金改定を実施したことにより、平成23年度以降減収を見込みました。

また、府営水道の導入が地下水保全という一般行政施策の目的を併せ持つことから、市民の水道料金負担の軽減措置として、※一般会計からの繰入金を見込みました。

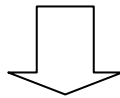
その他収益は、上記の一般会計からの繰入金のほか、受託工事収益や下水道使用料徴収業務委託料等です。

事業収益全体では、5年間で約115億9,600万円を見込みました。

○ 事業費用では、費用の約4割を占める受水費は、府営水道の基本料金単価の引き下げと、受水費の微減で平成23年度以降減少すると見込みました。

その他費用は、配水池の廃止と撤去による固定資産除却費や受託工事費、各種業務委託料等です。

事業費用全体では、5年間で約116億900万円の支出を見込みました。



○ 収支としては、5年間で差し引き1,300万円程度の赤字を想定していましたが、現在では約1億4,900万円の黒字が見込まれます。

○ 事業収益では、料金収入をはじめ一般会計からの繰入金を含むその他共に減収となりましたが、事業費用においても修繕費が会計制度の変更により減少し、その他の受託工事や各種業務委託料も減少となりました。黒字化は事業収益の減少以上に事業費用が減少したことによります。

※一般会計からの繰入金：水道事業は独立採算性が基準であるため、一般会計から補助金等を受けることは有りませんが、「長岡京市水道事業懇談会」からの提言を受け、本市独自の施策として府営水道の供給原価の試算で用いられた固定費のうち水源費を対象経費として、その3分の1相当額を繰入れています。